

より良い有田市をめざして ～みんなで手をくんで～



いよいよスポーツの秋、芸術の秋といわれる秋本番ですが、もう一つの風物詩は、ノーベル賞の発表です。これまで実績を積み重ねてこられた受賞者の方々には、心から敬意を表するとともにお慶びを申し上げます。

さて、本市におきましても大変うれしい発表がありました。第31回時事通信社「教育奨励賞」において有識者による厳選なる審査の結果、最高位となる優秀賞と文部科学大臣奨励賞をそれぞれ受賞した保田小学校が、全国一位に選ばれました。

評価された取組みは、「他者から学ぶ姿勢」を基本に、児童と教員、児童または教員同士が、それぞれ学び合うことを通じて授業の組み立てを行い、成長に繋げていくといったものです。当校は7年間この取組みを実践しており、学力向上などの成果が高

く評価されました。私たち人間にとって基本姿勢ともいえる取組みが評価されたことを大変うれしく思うとともに、こういった取組みの重要性を改めて感じました。

現在、当校に限らず本市の小中学校は、近年の全国学力調査の結果におきまして、県下でトップレベルまで平均点の伸びが見られます。校長先生を始め学校現場で日々ご尽力いただく先生方、また、ご理解とご協力をくださる保護者の皆様方、そして教育委員会等の関係各位に対し、心からお礼を申し上げます。

今後も「教育のまち有田市」に向け、皆様と力を合わせ、保田小学校校歌のように「みんなで手をくんで」取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

保田小学校の皆様、おめでとうございます。

有田市長 望月 良男

保田小学校 文部科学大臣奨励賞受賞!!

創造性に富んだ特色ある教育の実践で顕著な成果を上げた学校をたたえる第31回教育奨励賞（時事通信社主催・文部科学省後援・公益財団法人新聞通信調査会協賛）の受賞校が決定し、優秀賞・文部科学大臣奨励賞に保田小学校（上野山恭子校長、児童数343名）が選ばれました。

今回の受賞は、子ども同士、教員と子ども、教員同士が「生き生きと学び合う学校」をめざしたこれまでの取組みが評価されたものです。

★保田小学校の取り組み★

- ◎子どもと子どもがつながる「話し合い」を核とした学習活動
- ◎子どもとの対話や丁寧な観察に基づいた教員の細かなサポート
- ◎授業改善をめざした校内研修での活発な教員同士の学び合い



広告 市収入の一部とするため有料広告を掲載しています。

より良い広報づくりのため、皆様のご意見ご要望を秘書広報課へお寄せください。